〔文化財伝承等の取組事例〕

「龍瀬小学校の八月踊り伝承活動の取組」

１．学校名	龍郷町立龍瀬小学校
２．学年・人数	全校児童　86 人
３．日時・場所	⑴　練習の日時・場所 令和７年９月 26 日（金）　龍瀬小学校校庭 ⑵　発表の日時・場所 令和７年 10 月５日（日）　大運動会　龍瀬小学校校庭
４．伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について	⑴　名　称 八月踊り（はちがつおどり） ⑵　由　来 鹿児島県や沖縄県の一部に伝わる五穀豊穣を祝う民族舞踊のことで，作物の豊年祈願や収穫のある旧暦の八月（新暦の秋）に行うことから八月踊りと呼ばれている。近代では，伝統文化の保存活動として，さまざまな祝いの場や集落行事，学校行事など，時期を問わず披露されている。 ⑶　構成等 龍郷町には 20 の集落があり，そのひとつひとつに独自の踊りのパターンや唄の旋律，歌詞がある。太鼓（チヂン）のリズムだけで唄い踊るというシンプルさながら，魂を揺さぶる熱気に溢れている。
５．文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	学校と地域が連携しながら「八月踊り」を継承していくために，今年度，地域の有志を中心に「龍瀬八月踊り隊」が結成され，町内外のイベントで披露している。 学校としても，子どもたちの積極的な参加を促すなど支援している。 運動会に向けた練習の際は，「龍瀬八月踊り隊」が中心となって指導を行っていただき，運動会当日も，例年以上の参加があり，盛り上がった。
６．取組の様子（練習状況，発表の場等）	 練習会 運動会での披露
７．感想・意見 （参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・　地域の方々と一緒に踊ることができて楽しかった。 ・　奄美の大切な文化をこれからも大切にしていきたい。 【地域】 ・　子どもたちも巻き込んで，これからも盛り上げていきたい。　等